

## 内閣府「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」に参加して

全国会議が開催される「東京国際フォーラム」は東京駅から歩いて5分ほどで、全国から参加するのに非常に判り易く直ぐに会場に着くことが出来ました。開会1時間前から受付になりましたが直ぐに参加者が入場されました。会場内は多くの参加者で埋まり、例年のように男女共同参画担当行政相談委員の席は一カ所に確保されていて、全国から42名の参加で、京都行政相談委員協議会からは3名（畠松勝子、佐々木茂子、井上正暉）が参加しました。

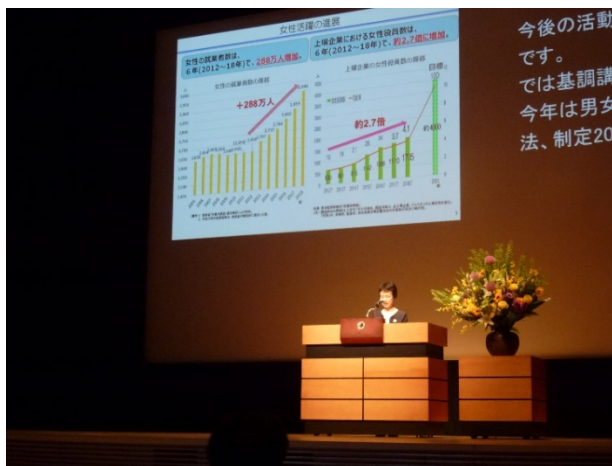
日時 令和元年6月25日（火）13時00分～16時00分  
会場 東京国際フォーラム ホールC  
テーマ 男女共同参「学」 知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる

### 第1部

#### 1. 開会・基調講演

講師：内閣府男女共同参画局長

- ・当初は、片山さつき内閣府特命担当大臣（男女共同参画）女性活躍担当大臣の基調講演の予定でしたが、国会開会中のために池永肇恵内閣府男女共同参画局長から、i)女性の就業者数と、上場企業における女性役員数は2012年～18年の6年間で大きく増加した、ii)東京圏への人口流出は男性よりも女性が多い傾向にある、iii)児童虐待防止対策とDV対策の連携強化の法改正、iv)政治分野の男女共同参画の推進に関する法律などについて講演されました。



基調講演される池永肇恵内閣府男女共同参画局長

#### 2. 特別応援メッセージ

若宮正子氏（デジタルクリエイター）

- ・定年退職の前にパソコンを購入し、母の在宅介護中も自宅でネットを利活用されたおかげで楽しい介護生活を送られたことから、シニアへのデジタルライフ普及活動を続けておられる経験をもとにメッセージを述べられました。



応援メッセージを述べられる若宮正子氏

### 3. チャレンジする女性の取り組み事例の紹介

高木千歩氏（麦有ビール株式会社代表取締役）

- 東京で会社員として勤めていたが、2011年の東日本大震災で「十日町地域おこし協力隊」に参加され、クラフトビールで地域の原料を使用し地域で醸造し地域で消費する、地産地消型を目指して取り組まれています。

兼子佳恵氏（特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワークス(やっべす)代表理事）

- 人材育成スクールを立ち上げて、NPO、行政、民間企業による女性リーダー育成プログラムに取り組まれ、第6期まで取り組んで100名を超える女性リーダーを育成され次のステージに向かって活動されています。

小林コトミ氏（株式会社シードハウス代表取締役）

- 女性のキャリアアップの機会を支援する取り組みとして、キャリアアップできる教材として「スキマ時間」でプログラミングが学べるアプリの開発やキャリアを構築する場を作られています。



取り組み事例を紹介される小林コトミ・兼子佳恵・高木千歩の三氏

## 第2部

### 4. 多様な選択を可能にする学びに関する調査報告

筒井淳也氏（立命館大学産業社会学部教授）

萩原牧子氏（リクルートワークス研究所調査設計・解析センター長）

進行役 宮崎千晶（内閣府男女共同参画局調査課調査官）

- ・検討委員会のメンバーであった筒井氏と萩原氏、そして調査の担当をされた宮崎氏から調査の一部が紹介されました。調査方法として、インターネット・モニターによる意識調査とヒアリングによる事例調査が行われ、家族からの性別を理由にした発言での影響、仕事以外の活動のための学びのハードル、性別・年代別に見たジェンダー意識など、時間の関係もあり調査結果の一部が紹介されました。



調査の報告をされる筒井純也・萩原牧子・宮崎千晶の三氏

### 5. パネルディスカッション 「多様な選択を可能にする学びの充実」

パネリスト

大坪久子氏（日本大学薬学部薬学研究所上席研究員）

熊平美香氏（昭和女子大学ダイバーシティ推進機構

キャリアカレッジ学院長）

是枝俊悟氏（大和総研研究員）

沢田 薫氏（大阪市立男女共同参画センター中央館館長）

コーディネーター 萩原なつ子氏（立教大学社会学部／

大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

- ・大坪久子氏、「無意識のバイアス」とは無意識のうちに脳に刻み込まれた固定観念・偏見のことで、評価や判断に際してどのような負の影響を与えるのか自覚が大切だと紹介されました。
- ・熊平美香氏、「多様な選択を可能にする学びの充実」として、学生と信頼できる社会人が個別やグループで直接出会って相談できる「社会人メンタ制度」や、社会人女性のための「キャリアカレッジ」の開講などを紹介されました。
- ・是枝俊悟氏、「経済の観点から見た、男女共同参画とは」として、夫婦ともに

仕事と家事・育児に参画することは豊かな家庭を作るための、費用対効果の良い「投資」ではないか等と紹介されました。

- ・ 沢田 薫氏、「大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）」の取り組みを紹介され、学びから実践へと連携させたプログラムの取組や、女性の活躍を後押しするメンタシップなどを紹介されました。



パネルディスカッションの様子

全国会議は16時に閉会しましたが、全国で実践されている色々な取組を聞かせて頂いた有意義な会議でした。

以上、概要の報告になりますが、詳細につきましては後日に内閣府男女共同参画局のサイトに掲載されると思いますのでご覧下さい。

報告者 男女共同参画担当委員 井上正暉